**報告書の記載例**

規則第14条の２の報告書の様式

伐採及び伐採後の造林に係る森林の状況報告書

　　年　　月　　日

 　　　いの町長　様

造林の期間（転用の場合は、伐採の期間）の末日から30日以内に提出する。

住　所

法人にあつては、名称及び代表者の氏名

報告者 氏名　　　　　　　　　　　　印

 　年　月　日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採及び伐採後の造林を実施したので、森林法第10条の８第２項の規定により報告します。

1. 報告者の氏名・住所が正確に記載する。
2. 法人の場合は法人登記印が、個人の場合は認印が押印する。（ただし、個人で自署の場合は押印省略可）

①造林（伐採）箇所ごとに報告書を作成する。

②複数地番にまたがる場合は、全ての地番を記載する。

１　森林の所在場所

|  |
| --- |
|  　　　　　　　　いの町　大字　　　字　　　地番 　　　　　　　　 |

少数第2位まで記載する。

（第3位で四捨五入する）

２　伐採の実施状況

届出に記載した期間内。

伐採率は、立木材積による伐採率(％)を記載する。

|  |  |
| --- | --- |
| 伐採面積 | ha |
| 伐採方法 | 皆伐　・　択伐 | 伐採率 | ％ |
| 伐採樹種 |  |
| 伐採の期間 |  |

３　伐採後の造林の実施状況

次ページの「樹種別の造林本数欄の記載方法について」による記載又は資料を添付する。

複数の樹種を造林した場合は、樹種ごとに記載する。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 造林の方　法 | 造林の期　間 | 造　林樹　種 | 樹種別の造林面積 | 樹種別の造林本数 |
| 人工造林 |  |  |  | ha | 本 |
| 天然更新 |  |  |  | ha | 本 |

４　備考

1. 伐採後の用途が森林以外（転用）である場合、その用途及び時期を記載する。
2. 相続等により届出書とは異なる森林所有者が提出する場合、当該相続等に係る情報を記載する。

|  |
| --- |
|  |

注意事項

１　報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。

２　氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。

３　森林の所在場所ごとに記載すること。

４　面積は、小数第２位まで記載し、第３位を四捨五入すること。

５　樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。

６　伐採方法欄には、皆伐又は択伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。

７　造林の方法欄には、人工造林による場合には植栽又は人工播種の別を、天然更新による場合にはぼう芽更新又は天然下種更新の別を記載すること。

８　人工造林による場合において、複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

９　天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には、「別添のとおり」と記載することができる。

（別添の例２）

更新状況チェックリスト

（確認日：平成○年○月○日）

☑　更新樹種の稚樹の樹高が周囲の競合植物の草丈を十分上回っている。

☑　更新樹種の稚樹の本数が半径○ｍの円内に○本以上生育している。

☑　伐採跡地が全体的に更新されている。

☑

☑

（別添の例１）

造林地の写真

（撮影日：平成○年○月○日）

造林地全体の遠景

（数枚）

更新樹種の生育状況（高さや成立本数）がわかる近景（代表的な更新樹種がわかる近接写真を含む）

（数枚）

1. 造林方法が人工造林の場合

伐採及び伐採後の造林に係る森林の状況報告書

平成30年５月31日

　　　いの町長　様

造林の期間の末日から30日以内。

住　所　　○○市○○町１－２－４

報告者 氏名　森林　花子　　印

 平成29年10月１日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採及び伐採後の造林を実施したので、森林法第10条の８第２項の規定により報告します。

複数地番にまたがる場合は、該当する全ての地番を記載する。

１　森林の所在場所

|  |
| --- |
| いの町　大字○○　字△△　地番1234-1番地、1234-2番地 |

全ての地番の合計面積を記載する。

２　伐採の実施状況

|  |  |
| --- | --- |
| 伐採面積 | 　2.00　ha |
| 伐採方法 | 皆伐　・　択伐 | 伐採率 | 100％ |
| 伐採樹種 | 　スギ |
| 伐採の期間 | 　平成29年12月15日～平成30年２月15日 |

３　伐採後の造林の実施状況

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 造林の方　法 | 造林の期　間 | 造　林樹　種 | 樹種別の造林面積 | 樹種別の造林本数 |
| 人工造林 | 植栽 | 平成30年３月1日～平成30年５月18日 | スギ | 1.00ha | 3,000本 |
| ヒノキ | 1.00ha | 3,000本 |
| 天然更新 | － | － | － | － | － |

４　備考

|  |
| --- |
| 平成30年3月1日に森林太郎から相続（共有者：森林次郎ほか２名） |

相続等により届出書とは異なる森林所有者が提出する場合、当該相続等に係る情報を記載する。

注意事項

１　報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。

２　氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。

３　森林の所在場所ごとに記載すること。

４　面積は、小数第２位まで記載し、第３位を四捨五入すること。

５　樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。

６　伐採方法欄には、皆伐又は択伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。

７　造林の方法欄には、人工造林による場合には植栽又は人工播種の別を、天然更新による場合にはぼう芽更新又は天然下種更新の別を記載すること。

８　人工造林による場合において、複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

９　天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には、「別添のとおり」と記載することができる。

.

1. 造林方法が天然更新の場合

伐採及び伐採後の造林に係る森林の状況報告書

平成34年６月31日

　　　いの町長　様

造林の期間の末日から30日以内。

住　所　　　　○○市△△町字□□１２３

伐採をした者と伐採後の造林をした者が異なる場合は、連名で報告（ただし、造林をした者の記載があれば足りる。）

報告者　氏名　○○林業

伐採をした者（立木を買い受けて伐採した者等）

代表取締役　林野　次郎　　印

住　所　　　　○○市○○町１－２－３

伐採後の造林をした者（森林所有者）

報告者　氏名　森林　太郎　　　　　　印

 平成29年10月１日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採及び伐採後の造林を実施したので、森林法第10条の８第２項の規定により報告します。

複数地番にまたがる場合は、該当する全ての地番を記載する。

１　森林の所在場所

|  |
| --- |
| いの町　大字○○　字△△　地番1234-1番地、1234-2番地 |

全ての地番の合計面積を記載する。

２　伐採の実施状況

|  |  |
| --- | --- |
| 伐採面積 | 　3.30　ha |
| 伐採方法 | 皆伐　・　択伐 | 伐採率 | 100％ |
| 伐採樹種 | 　クヌギ、その他広葉樹 |
| 伐採の期間 | 　平成29年11月10日～平成29年12月20日 |

３　伐採後の造林の実施状況

複数の樹種を造林した場合は、樹種ごとに記載する。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 造林の方　法 | 造林の期　間 | 造　林樹　種 | 樹種別の造林面積 | 樹種別の造林本数 |
| 人工造林 | － | － | － | － | － |
| 天然更新 | ぼう芽更新、天然下種更新 | 平成29年12月21日～平成34年6月18日 | クヌギ | 2.20ha | 7,000本 |
| その他広葉樹 | 1.10ha | 別添のとおり |

４　備考

|  |
| --- |
|  |

注意事項

１　報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。

２　氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。

３　森林の所在場所ごとに記載すること。

４　面積は、小数第２位まで記載し、第３位を四捨五入すること。

５　樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。

６　伐採方法欄には、皆伐又は択伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。

７　造林の方法欄には、人工造林による場合には植栽又は人工播種の別を、天然更新による場合にはぼう芽更新又は天然下種更新の別を記載すること。

８　人工造林による場合において、複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

９　天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には、「別添のとおり」と記載することができる。

（別添の例２）

更新状況チェックリスト

（確認日：平成○年○月○日）

☑　更新樹種の稚樹の樹高が周囲の競合植物の草丈を十分上回っている。

☑　更新樹種の稚樹の本数が半径○ｍの円内に○本以上生育している。

☑　伐採跡地が全体的に更新されている。

☑

☑

（別添の例１）

造林地の写真

（撮影日：平成○年○月○日）

造林地全体の遠景

（数枚）

更新樹種の生育状況（高さや成立本数）がわかる近景（代表的な更新樹種がわかる近接写真を含む）

（数枚）

1. 伐採後に森林以外の用途に供されることとなる場合

伐採及び伐採後の造林に係る森林の状況報告書

平成30年４月20日

　　　いの町長　様

伐採の期間の末日から30日以内。

住　所　　○○市○○町１－２－３

報告者 氏名　森林　次郎　　印

 平成30年２月１日に提出した伐採及び伐採後の造林の届出書に係る森林につき次のとおり伐採及び伐採後の造林を実施したので、森林法第10条の８第２項の規定により報告します。

１　森林の所在場所

|  |
| --- |
| いの町　大字○○　字△△　地番1234-1番地 |

伐採面積が1ha以下であること。

２　伐採の実施状況

|  |  |
| --- | --- |
| 伐採面積 | 　0.50　ha |
| 伐採方法 | 皆伐　・　択伐 | 伐採率 | 100％ |
| 伐採樹種 | 　ヒノキ |
| 伐採の期間 | 　平成30年３月12日～平成30年３月30日 |

３　伐採後の造林の実施状況

伐採後に森林以外の用途に供されることとなるため、造林の実施状況の記載は不要。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 造林の方　法 | 造林の期　間 | 造　林樹　種 | 樹種別の造林面積 | 樹種別の造林本数 |
| 人工造林 | － | － | － | － | － |
| 天然更新 | － | － | － | － | － |

４　備考

|  |
| --- |
| 伐採後に宅地造成を予定（転用予定時期：平成30年８月） |

伐採後の用途が森林以外（転用）である場合、その用途及び時期を記載する。

注意事項

１　報告に係る森林の所在する市町村ごとに提出すること。

２　氏名を自署する場合においては、押印を省略することができる。

３　森林の所在場所ごとに記載すること。

４　面積は、小数第２位まで記載し、第３位を四捨五入すること。

５　樹種は、すぎ、ひのき、まつ（あかまつ及びくろまつをいう。）、からまつ、えぞまつ、とどまつその他の針葉樹及びぶな、くぬぎその他の広葉樹の別に区分して記載すること。

６　伐採方法欄には、皆伐又は択伐の別を記載し、伐採率欄には、立木材積による伐採率を記載すること。

７　造林の方法欄には、人工造林による場合には植栽又は人工播種の別を、天然更新による場合にはぼう芽更新又は天然下種更新の別を記載すること。

８　人工造林による場合において、複数の樹種を造林したときは、造林樹種、樹種別の造林面積及び樹種別の造林本数欄には、造林した樹種ごとに複数の行に分けて記載すること。

９　天然更新による場合においては、造林樹種欄には代表的な樹種を、樹種別の造林面積欄には天然更新に係る区域全体の面積を記載すること。また、更新調査の結果又は造林地の写真その他の更新状況を明らかにする資料を添付する場合には、樹種別の造林本数欄には、「別添のとおり」と記載することができる。